

例 言

1. 本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の1998年度の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査および整理作業は、国庫（3,650,000円）、県費（1,825,000円）の補助金の交付を受け、平成10年4月3日から平成11年3月31日まで実施した。
3. 調査組織

調 査 主 体 者 大井町教育委員会	文化財保護係長	坪田幹男
担 当 課 生涯学習課文化財保護係	文化財保護係・庶務	高橋偕子
教 育 長 遠藤正明	文化財保護係・発掘調査担当者	高崎直成・鍋島直久
生涯学習課長 仲野政男	大井町臨時職員・発掘調査補助員	土本医
4. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。
 執 筆：縄文土器 今井堯、本文・遺構 高崎直成
 土器・陶磁器実測：青山奈保美、石垣ゆき子、石原聡、高橋けい子、丹治つや子、山口妙子
 石器実測：石原聡、高橋けい子 土器拓影：石垣ゆき子、植田勢津子、高橋けい子、山口妙子
 土器復元：中田藤子 トレース：青山奈保美、小林登喜枝、須藤さち子、表作成：植田勢津子
 図版作成：青山奈保美、石垣ゆき子、須藤さち子、高橋けい子、中田藤子、山口妙子、丹治つや子
 遺構写真：坪田幹男・高崎直成・鍋島直久・土本医 遺物写真：高崎直成
 土器・石器実測の一部を（有）文化財COMに委託した。
 また、整理作業のなかで日本考古学協会の今井堯氏の援助と協力を得た。
5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。（敬称略）
 会田昭明、浅野晴樹、穴澤義功、天ヶ嶋岳、荒井幹夫、市丸靖子、内田賢司、岡田憲治、小澤千恵子、加藤秀之、梶原勝、梶原喜世子、神木繁嘉、國見徹、隈本健介、小出輝雄、駒井和久、桜井信枝、笹森健一、佐藤啓子、島田一郎、高橋京子、田中信、中島宏、塚田政子、原口雅樹、早坂廣人、松本新八郎、松本富雄、水村孝行、柳井章宏、柳沢健司、和田晋治
 埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課、東久保土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、大井町遺跡調査会、（有）文化財COM。
6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。
 〈発掘調査参加者〉（敬称略）
 新井和枝、荒井美奈子、飯塚泰子、石原聡、井上晴江、海老原サナエ、大曾根キク子、笠原英子、金子君子、金丸文男、小林こずい、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、高木千恵子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、野沢松代、林きぬ子、比嘉洋子、三村美代子、若尾久美子、若林紀美代
 〈整理作業参加者〉（敬称略）
 青山奈保美、石垣ゆき子、石原聡、植田勢津子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。
 - (1) 縮尺は原則として
 遺構配置図 1:300 遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30 炉などの詳細図 1:30
 土器実測図 1:4 土器拓影図 1:3 石器実測図 1:3、2:3 銭 1:1
 - (2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。
 - (3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。
 攪乱 地山（ローム） 焼土
 土器 ● 石器 ★ 黒曜石・チャート ▲ 礫 ○
 - (4) 土器実測図における screen-tone の指示。
 地文縄文 撚糸文
 - (5) 土器断面図は、「」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。
3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第2表 1998年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺 跡 名	申 請 地	面積 (㎡)	原 因	試 掘 期 間	調 査 措 置
1	江川南遺跡第9地点	東久保1街区2・3画地	875	共同住宅	10.10.9	試掘
2	江川東遺跡第5地点	東久保1-155-6	164	土地分譲	10.6.1～10.6.9	試掘
3	亀久保堀跡遺跡第7地点	東久保32街区7画地	165	砂利敷駐車場	10.11.16	試掘
4	亀久保堀跡遺跡第11地点	東久保2街区12画地	151	個人住宅	10.4.8～10.4.22	試掘
5	亀久保堀跡遺跡第12地点	東久保258-46	123	個人住宅	10.5.8～10.5.21	試掘
6	亀久保堀跡遺跡第13地点	東久保5街区11・12画地	107	個人住宅	10.5.8～10.5.21	試掘
7	亀久保堀跡遺跡第14地点	東久保2街区11画地	132	個人住宅	10.4.8～10.4.22	試掘
8	亀久保堀跡遺跡第15地点	東久保7-2街区4・5画地	111	個人住宅	10.5.8～10.5.21	試掘
9	亀久保堀跡遺跡第16地点	東久保5街区18・19画地	117	個人住宅	10.6.1	試掘
10	亀久保堀跡遺跡第18地点	東久保7-2街区1・2・7～9画地	908	個人住宅4軒分	10.11.5～10.11.30	試掘
11	亀久保堀跡遺跡第19地点	東久保4街区11・12画地	99	個人住宅	10.11.5～10.11.10	試掘
12	亀久保堀跡遺跡第20地点	東久保8街区5画地	185	個人住宅	10.11.24	試掘
13	東久保西遺跡第4地点	東久保10街区1画地	298	砂利敷駐車場	10.12.2	試掘
14	東久保西遺跡第5地点	東久保9街区9画地	194	個人住宅	10.12.14	試掘
15	東久保西遺跡第6地点	東久保12街区1・2・10画地	1,959	店舗	11.2.9～11.2.15 (11.2.24～11.3.1)	試掘後遺跡調査会で本調査
16	東中学校西遺跡第13地点	東久保2街区12画地	218	専用住宅	10.6.9～10.6.11	試掘
17	東中学校西遺跡第14地点	東久保44街区11・20・26画地	1,231	共同住宅	10.6.23～10.6.26	試掘
18	東中学校西遺跡第15地点	東久保45街区1・4・6画地	2,649	店舗専用駐車場	10.8.24	試掘
19	東中学校西遺跡第16地点	東久保42街区6画地	1,347	店舗専用駐車場	10.8.19～10.8.31	試掘
20	東中学校西遺跡第17地点	東久保38街区7・8画地	1,131	店舗専用駐車場	10.8.24	試掘
21	東中学校西遺跡第18地点	亀久保319-1	850	テニスコート	11.2.15～11.2.17	試掘
22	東中学校西遺跡第19地点	東久保52街区8画地	944	アスファルト駐車場	11.3.17	試掘
23	東久保南遺跡第14地点	東久保63街区2画地	333	個人住宅	10.6.25～10.7.1	試掘
24	東久保南遺跡第15地点	東久保60街区6画地	143	個人住宅	10.7.8～10.7.9	試掘
25	東久保南遺跡第16地点	東久保59街区3画地	541	共同住宅	10.12.14	試掘
26	東久保南遺跡第17地点	東久保46街区9・10・17画地	1,264	自動車ショールーム	11.2.2～11.2.3	試掘
27	西ノ原遺跡第110地点	苗間146-2	385	郵便局	10.4.20～10.5.28	試掘
28	西ノ原遺跡第111地点	大井苗間23街区9画地	354	個人住宅	10.10.23～10.10.27	試掘
29	西ノ原遺跡第112地点	大井苗間23街区9画地	144	個人住宅	11.2.9	試掘
30	中沢前遺跡第15地点	大井苗間34街区1画地	109	個人住宅	10.7.13	試掘
31	中沢前遺跡第16地点	大井苗間30街区6.7画地	482	共同住宅	11.3.12～11.3.15	試掘
32	中沢前遺跡第17地点	大井苗間32街区2画地	165	個人住宅	11.3.12～11.3.15	試掘
33	神明後遺跡第7地点	苗間260	1,460	個人住宅	10.6.1～10.6.2	試掘
34	神明後遺跡第8地点	苗間235-1	458	共同住宅	10.7.21～10.7.24	試掘
35	神明後遺跡第9地点	苗間310-1	219	共同住宅兼自家用車庫	10.9.1～10.9.11 (10.9.14～10.10.15)	教育委員会で 本調査

X 神明後遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約300m、さかい川の谷頭部から約1,500m下った右岸に位置し、標高12～16m、現谷底との比高差は1.5mを測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禅寺跡遺跡・苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く大きな開発もなかったが、ふじみ野駅の開設に伴い今後徐々に再開発が進むと思われる。

本遺跡の最初の調査は1987年に町史編纂事業の一環として行われた。その後1993年に新駅へ延びる道路をはじめ、1999年3月現在12ヶ所で試掘調査および発掘調査が行われている。

これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。

2 神明後遺跡第7地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者から「埋蔵文化財事前協議書」が1998年4月22日付けで町教育委員会に提出された。調査区は遺跡の西側に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在確認のため試掘調査を実施することとした。

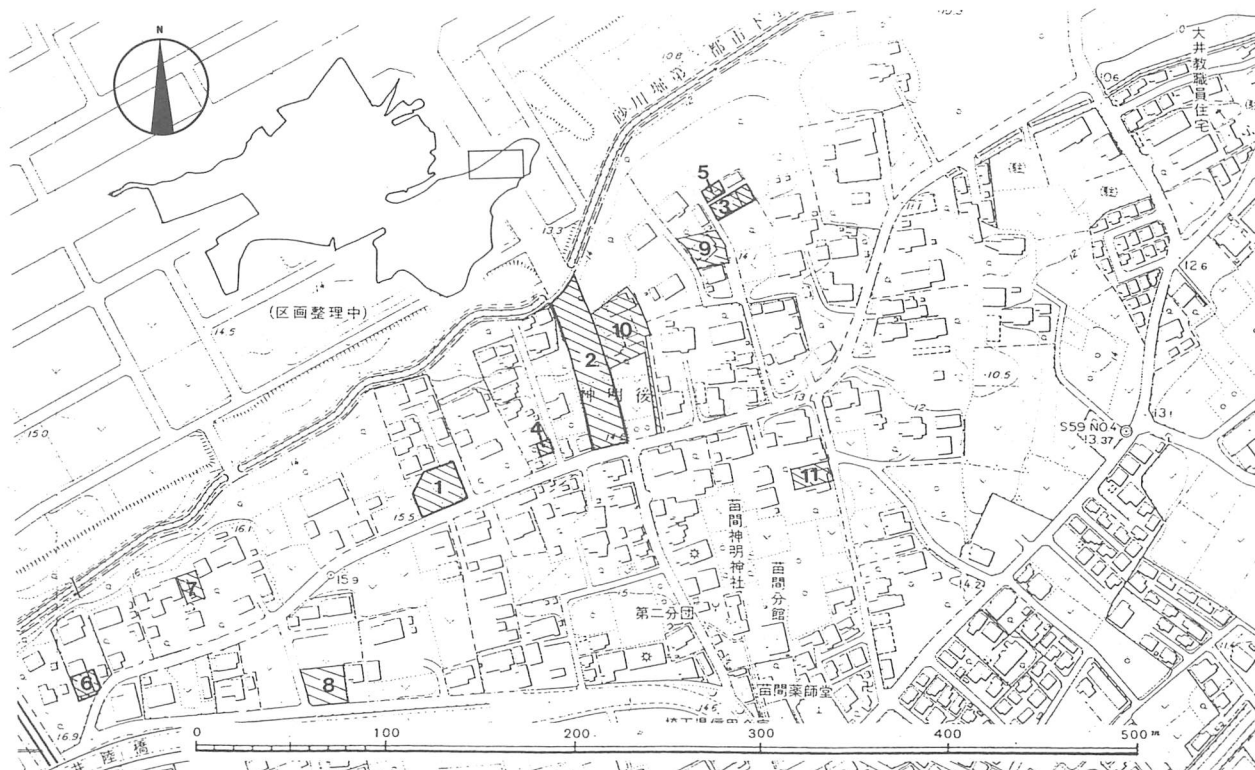
調査区の長軸方向に2×2mのグリッドを6ヶ所設定し、6月1日から人力により表土除去と精査を行った結果、近世の地下室1基を検出し、6月2日に調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

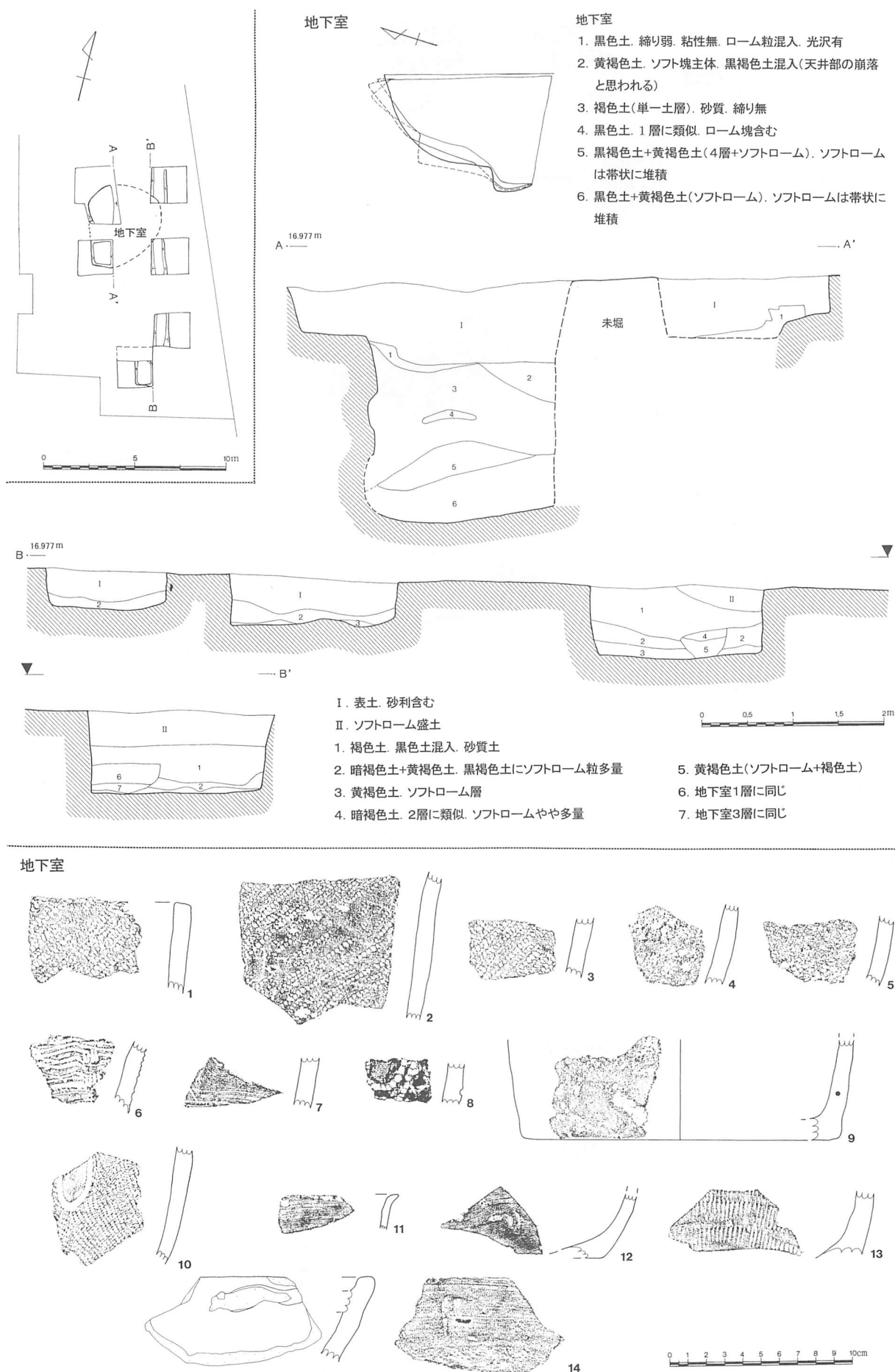
【地下室】 地下室は4.5×4mの範囲で確認でき、ほぼ円形を呈するが、中段に幅35cmの長方形の張り出しを持つ。確認面からの深さは197cmを測る。

【地下室出土遺物】 (第49図)

1～10は縄文土器。1～3は直接接合しないが同一個体で、1は筒形深鉢の口縁部。地文は縦回転によるLR縄文で、密な部分と間隔をあけた部分を含む施文。胎土にはチャート粗砂粒。白色軟質物質・輝石・角閃

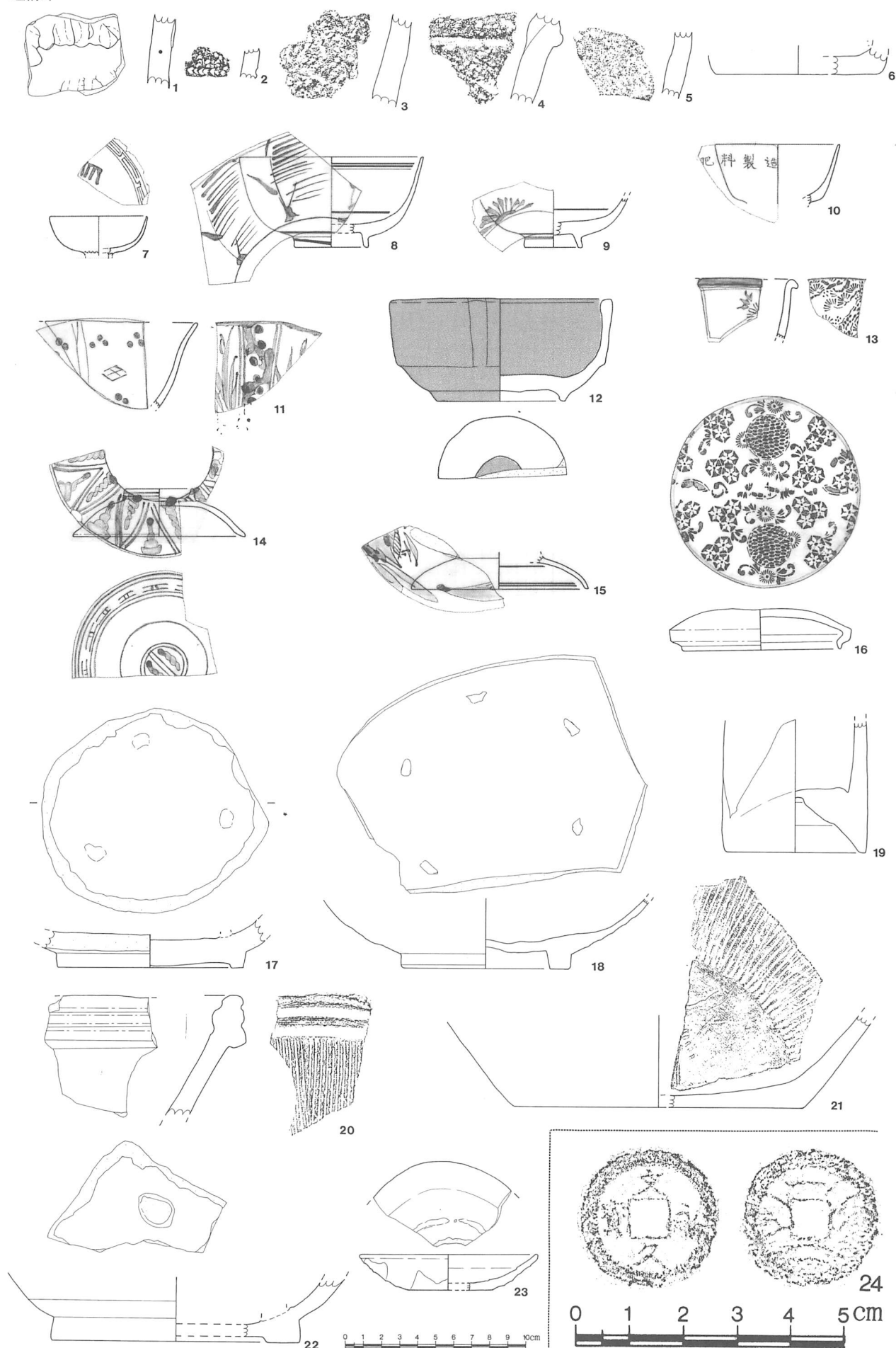


第48図 神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第 49 図 神明後遺跡第 7 地点遺構配置図 (1/300)・土層・地下室 (1/60)・出土遺物 (1/3)

遺構外



第50図 神明後遺跡第7地点遺構外出土遺物 (1/3) ・銭 (1/1)

石粉末を含み、堅く焼成され暗褐色を呈する。4と5は同一個体の胴部片で地文の縄文のみが残る。胎土と縄文の特徴は1～3と同様であるが、赤褐色を呈する。

6は頸部片で、半截管状工具でゆるい波状をめぐらせ、段をとばして縦位に4つの押引を加える。胎土に茶褐色細砂粒・白色軟質物質を含み焼成良好で、赤褐色を呈する。7は口縁近くの破片で、細い半截竹管による沈線が横位・斜位に入る。胎土は6と同様であるが暗褐色を呈する。1～7は五領ヶ台式。

8は、隆帯による区画沿いに幅広押引文を連続させて赤褐色を呈する。勝坂Ⅰ式。

9は深鉢の底部で無文であるが圧痕がある。胎土に白色細砂粒・角閃石・輝石粉末・金雲母を多量に含み焼成良好で黄～明褐色を呈する。阿玉台Ⅱ式。

10は多方向施文の細縄文を地文とし、沈線で楕円形区画をつくりU字形に磨り消す。胎土に砂粒を含まず角閃石・輝石粉末と白色軟質物質を含む。焼成良好で

黄褐色を呈する。加曽利EⅣ式であろう。

11～14は近世の土器。11は植木鉢。12は火消し壺蓋。13は瓦質の火容。14は瓦質の焙烙で内耳部分。

【遺構外出土遺物】（第50図）

1～6は縄文土器。1は、無文地に多段の指頭圧痕文をもつ胴片で、胎土に白色細砂粒・乳白色微砂粒・金雲母を含み焼成良好で暗褐色を呈する。阿玉台Ⅰb式である。

2は、口縁部文様帯の小片で、隆帯沿いと、区画内に細い三角押文を施文する。勝坂Ⅰ（新道）式。

3は磨滅著しいが、口縁文様帯と胴部を画する隆帯と胴部に縄文の痕跡を残す。4はLR縄文の、5はRL縄文の地文部のみの胴部片。6は底とわずかに胴下部の残る小片。3～6は加曽利E式であるが細分不明。

7～23は近世陶磁器。

24は銅銭で文久永寶（1863年初鑄）。径25.7mm、孔幅6.7mm、厚1.2mm、重量2.17g。

第19表 神明後遺跡第7地点遺構外出土陶磁器一覧表

No.	種別・器種	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	技法／文様／その他	推定生産地	推定年代	備考
7	磁器・小坏	(5.5)	—	—	ロクロ成形/江戸絵付、雷文・源氏香文	瀬戸・美濃	1810～1860	
8	磁器・端反碗	(10.8)	(4.2)	5.1	ロクロ成形/染付、外面草花文、内面二重圏線	肥前	1830～1870	
9	磁器・端反碗	—	(3.2)	—	ロクロ成形/ 染付、外面・内面見込五弁花	肥前	1830～1870	
10	磁器・小坏	(7.0)	—	—	ロクロ成形/コバルト染付、外面「肥料製造」	瀬戸・美濃	1870～	
11	磁器・八角鉢	—	—	—	ロクロ型打成形/染付、草花文	肥前	19世紀前半	
12	磁器・鉢	12.5	7.2	5.7	ロクロ型打成形/青磁/蛇ノ目凹型高台	肥前	1760～	
13	磁器・鉢	—	—	—	ロクロ成形/染付、型紙摺	瀬戸・美濃	1880～	
14	磁器・端反碗蓋	3.8	9.6	2.7	ロクロ成形/染付	肥前		
15	磁器・広東碗蓋	10.0	—	—	ロクロ成形/ 染付、山水文	肥前		
16	磁器・蓋物鉢蓋	—	2.2	8.7	ロクロ成形/染付、型紙摺	瀬戸・美濃	1880～	
17	陶器・片口鉢	—	10.2	—	ロクロ成形/灰釉/見込ビン痕3ヶ所	瀬戸・美濃	19世紀前半	煤付着
18	陶器・鉢	—	9.0	—	ロクロ成形/灰釉/見込ビン痕5ヶ所	不明		
19	ガラス・ワインボトル	—	7.7	—	黒色			
20	焼締陶器・擂鉢	—	—	—		堺	19世紀	口縁部
21	焼締陶器・擂鉢	—	(15.8)	—	平底	堺	19世紀	
22	陶器・半胴甕	—	(13.6)	—	鉄釉/見込に目痕	瀬戸・美濃	19世紀後半	
23	陶器・灯明皿	(9.8)	(4.8)	2.0	ロクロ成形/鉄釉/内面段有、見込釉禿、直重ね	瀬戸・美濃	19世紀前半	

西ノ原遺跡第111・112地点・中沢前遺跡第15～17地点・神明後遺跡第7地点



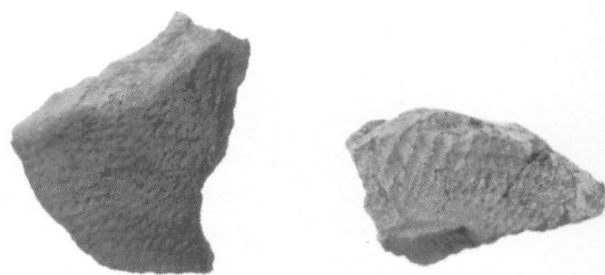
西ノ原遺跡第111地点 調査区全景



西ノ原遺跡第112地点 調査区全景



中沢前遺跡第15地点 調査区全景



中沢前遺跡第15地点 出土土器



中沢前遺跡第16地点 調査区全景



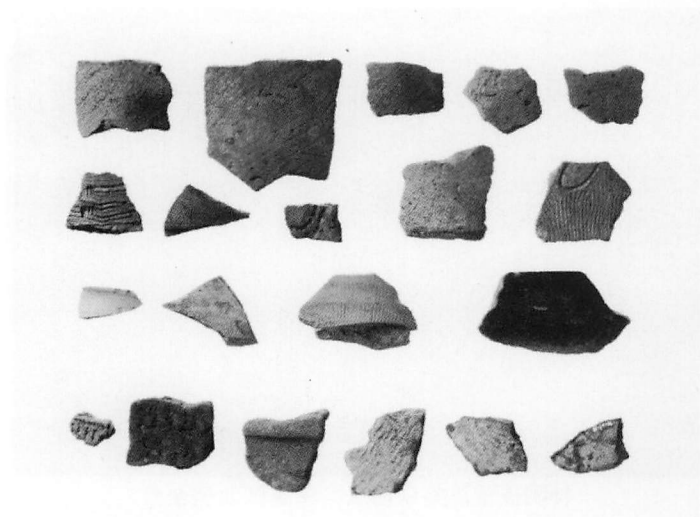
中沢前遺跡第17地点 調査区全景



神明後遺跡第7地点 地下室



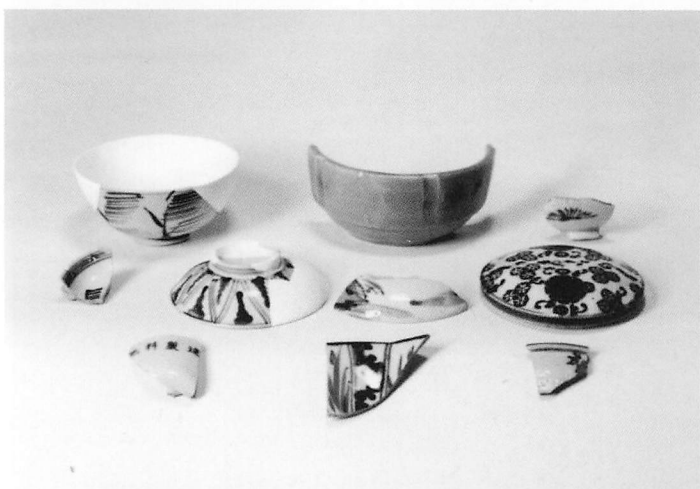
神明後遺跡第7地点 作業風景



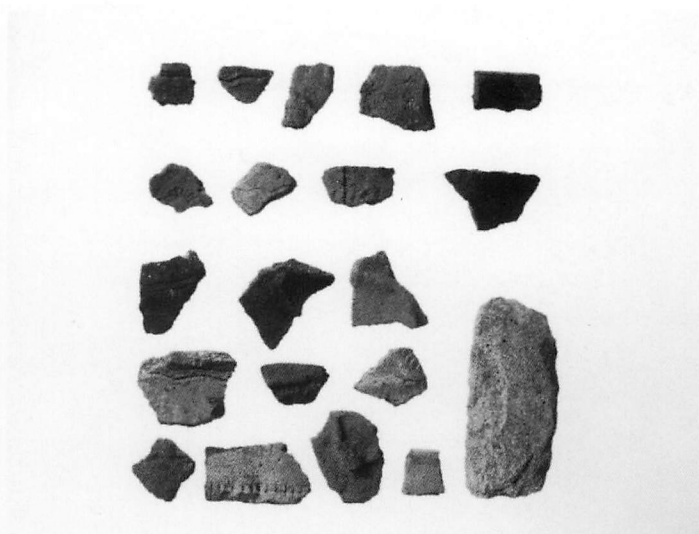
神明後遺跡第7地点 地下室・遺構外出土遺物1



神明後遺跡第7地点 遺構外出土遺物3



神明後遺跡第7地点 遺構外出土遺物2



神明後遺跡第8地点 出土遺物



神明後遺跡第8地点 調査区全景